

平成 27 年度愛知県海岸漂着物対策推進協議会議事録

1. 開催日時

平成 27 年 11 月 17 日（火） 午前 10 時から 11 時まで

2. 場 所

愛知県自治センター 4 階 大会議室

3. 議 事

(1) 愛知県海岸漂着物対策推進地域計画の改定案について

資料 1-1、1-2、1-3 及び 1-3（抜粋）に基づき、事務局から愛知県海岸漂着物対策推進地域計画の改定案の内容を説明し、改定案について了承された。

(2) 海岸漂着物等対策推進事業（平成 27 年度）の実施状況について

資料 2-1 及び 2-2 に基づき、事務局から平成 27 年度に実施した海岸漂着物セミナーの実施状況及び海岸漂着物等の回収・処理状況を報告した。

<質疑応答>

環境活動推進課：海岸漂着物セミナーは昨年度から実施している事業だが、昨年度のセミナーのアンケート結果と比較すると、効果が上がっているか。

事務局：昨年度のアンケート結果が手元にないので、改めて確認する。

環境活動推進課：3 地域で海岸漂着物セミナーを実施した中、1 地域だけアンケート結果が示されているが、他の 2 地域ではどうであったか。

事務局：現在、取りまとめているところであるので、次回、報告させていただく。

座長：昨年度に実施した海岸漂着物セミナーを 1 度見たが、スタッフが充実しており、参加者とのコミュニケーションがうまくとれていた。スタッフが重要と考えるが、今年はどうのような体制であったのか。

事務局：知多地域では、地元の自然観察会と連携して実施しており、参加者からの疑問の声にもすぐに応えることができる体制であった。また、生物とごみの関連などの話もでき、参加者からは満足の声をいただいている。

南知多町：漂流・海底ごみで今年度 1,000 万円の事業費が計上されているが、どのような事業が行われているのか。

事務局：大半が漂流ごみに係るものである。漂流ごみの回収を行っている清港会という団体があり、この団体に負担金を支出するというもの。

また、蒲郡市が海底ごみに関する事業を行っているので、事業内容を紹介していただきたい。

蒲郡市：海底ごみの回収方式を模索しながら実施しているところで、プロポーザル形式で発注を行った。その結果、委託した事業者が船を出せるため、底引き網形

式で回収することを現在考えている。

座長：海岸漂着物セミナー参加者について、ホームページで知ったという参加者が少ない。海岸漂着物のホームページを作成していたが、その後の更新状況や閲覧状況はどのようになっているのか。最近はスマートフォンを活用した情報発信型のコンテンツなどもあり、情報の交換がリアルタイムでできる。折角作ったホームページなので、更新も含めて活用方法を考えてはどうか。

事務局：閲覧状況については、手元にデータがないので確認する。ホームページの更新・活用については、いただいた提案も含め検討させていただく。

資源循環推進監：県では、情報発信型のコンテンツもある「エコリンクあいち」というホームページを立ち上げている。このホームページとの連携も考えていきたい。

(3) 海岸漂着物等地域対策推進事業（平成 28 年度国庫補助金）について

資料 3 に基づき、事務局より平成 28 年度の海岸漂着物等地域対策推進事業（国概算要望）について説明した。

<質疑応答>

美浜町：平成 25-26 年度は補助率 10/10 であったものが、平成 27 年度は 8/10 になり、来年度は 7/10 になる。補助率の減少傾向は今後も続いていくのか。

事務局：環境省からは、7/10 で下げ止まりとしたいと聞いている。

中部地方環境事務所：海岸漂着物の補助金に関しては、愛知県他に東海三県一市などからも予算要望を受けている。環境省としても、何とか継続していきたいと考えているので、自治体からも応援していただきたい。また、限られた予算の中で、補助率を設定しているものであることに御理解いただきたい。

3 閉 会

(以上)